

2009.10.17



作曲家シリーズ

# つべこべ言わずに ベートーヴェン



## プログラム

世界中で最も愛されている作曲家と言え、それはベートーヴェンではないでしょうか。幼少期から才能を開花させるも、決して裕福ではなかった実生活。難聴の苦しみからハイリゲンシュタットでの遺書に至る自殺騒動（ふたりの弟宛に書かれたこの遺書は、自殺を決意して書かれたものではなく、自分の気持ちを整理するために書かれたものだと言われています）。そして全く耳が聞こえなくなってからも不 の精神で次々と生み出されていった名曲の数々…。ベートーヴェンこそはクラシック音楽の代名詞とも言える巨人でしょう。でも実際のベートーヴェンは、そんなイメージとは似つかぬ不精で無頓着、気紛れな性格であったとか。今日はそんなことはつべこべ言わずに、ベートーヴェン！ ベートーヴェンの名曲、名演でお楽しみください。

\*\*\*\*\*

### ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン(1770~1827): 劇音楽“シュテファン王”序曲op.117

若杉 弘指揮サールブリュッケン放送交響楽団  
(1994.2.25 コンGRESハレ大ホールでのLive)



### 交響曲第6番ハ長調op.68“田園”

～ 第1楽章から、第2楽章から、第4楽章、第5楽章

カール・ベーム指揮ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団  
(1975.8.17 サルツブルク祝祭大劇場でのLive)

### ピアノ、ヴァイオリンとチェロのための 三重協奏曲ハ長調op.56～ 第1楽章～第3楽章抜粋

スーク・トリオ

(ヤン・パネンカ(ピアノ)/ヨゼフ・スーク(ヴァイオリン)/ヨゼフ・フツフロ(チェロ))

ズデニェク・コシユラー指揮チェコ・フィルハーモニー管弦楽団  
(1975.9.1 ヘルシンキ、フィンランドシア・ホールでのLive)

\*\*\* 休憩 \*\*\*

### ピアノ・ソナタ第14番嬰ハ短調op.27-2“月光”～ 第1楽章、第3楽章

ルドルフ・ゼルキン(ピアノ)

(1979.10.24 東京文化会館大ホールでのLive)

### 交響曲第5番ハ短調op.67“運命”

オイゲン・ヨッフム指揮ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団  
(1986.4.17 ベルリン・フィルハーモニーホールでのLive)